

PART 6



情報・分析ツール

SECTION 6-01 ニュースを見る

SECTION 6-02 チャートを見る



SECTION ロイターニュースを見る

6-01 ニュースを見る

ニュースについて

ロイター社のニュースをご覧いただくことができます。また、ニュースを検索することもできます。

ニュースを見るために 《設定操作》

手順 1 取引システムの **ニュース** をクリックします。

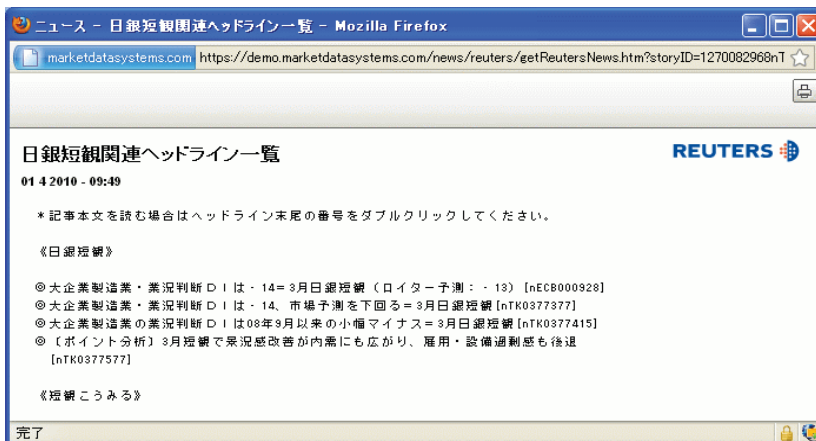


手順 2 「ニュース」画面が表示されます。



手順 3 見たいニュースタイトルをクリックします。

手順 4 ニュース本文をご覧いただけます。



PART 6 情報・分析ツール

ニュースを見る

ニュースコードによる検索 《設定操作》

カテゴリ別に分類されたローターニュースコードを入力して、該当するニュースの一覧を表示することができます。

手順 1 見たい銘柄の「取引銘柄情報」画面を表示させます。

手順 2 「取引銘柄情報」内に記載されているニュースコードを確認します。

手順 3 「ニュース」画面を表示させます。

手順 4 ニュースコードの入力欄に「取引銘柄情報」で確認したニュースコードを入力し、**検索** をクリックします。

検索 ニュースコードによる検索 ニュースコードの検索 ヘルプ
ニュースコードの入力 言語: 日本語

手順 5 該当するニュースの一覧が表示されます。

ニュース
検索 ニュースコードによる検索 ニュースコードの検索 ヘルプ
ニュースコードの入力 言語: 日本語
ニュース: DJI REUTERS
UPDATE: 米国株式市場 = 労働市場めぐる懸念で反落、四半期ベースでは上昇 01 Apr 2010 - 06:59
NY市場サマリ (31日) 01 Apr 2010 - 06:53
米国株式市場 = 反落、米ADP民間雇用者数の予想外の減少受け 01 Apr 2010 - 05:30
米国株式市場・寄り付き = 反落、ADP民間雇用報告などが圧迫 31 Mar 2010 - 22:51
NY市場サマリ (30日) 31 Mar 2010 - 06:55
UPDATE: 米国株式市場 = 小幅続伸、アップルは過去最高値 31 Mar 2010 - 06:41
米国株式市場 = 小幅続伸、アップルがナスダックを主導 31 Mar 2010 - 05:32
米国株式市場・寄り付き = 上昇、アップルめぐる報道や住宅価格指数受け 30 Mar 2010 - 22:59
NY市場サマリ (29日) 30 Mar 2010 - 06:53
UPDATE: 米国株式市場 = 上昇、エネルギー・鉱山株が主導 30 Mar 2010 - 06:43
ロイター株式会社制限規定を見るにはクリックしてください。

取引銘柄情報
ウォール街株価指数
取引条件
最低取引数 1 約定取引数
1ロットの取引額(0クリア毎) USD 10
1ピップ相当値 1 Index Point
1ピップ相当額 USD 10 (JPY 933)
維持証拠金額(取引毎) USD 800 (JPY 74,676)
最低ストロク幅 10
最低ギャンブリオーストク幅 30
1取引毎のスリッページ係数 USD 160 (JPY 14,935)
コード
チャートシンボルコード -
ニュースコード DJI
証拠金額
お客様のこの銘柄におけるポジションの総計には、以下の証拠金率変動制度に従った証拠金率が適用されます:

ワンポイント

取引銘柄情報のニュースコードをクリックするだけでも、該当するニュースの一覧を表示することができます。

注意!

選択した「言語」で該当するニュースがない場合

手順 1 「該当するニュースがありません」と表示されます。

ニュース
検索 ニュースコードによる検索 ニュースコードの検索 ヘルプ
ニュースコードの入力 言語: 日本語
ニュース: DJI REUTERS
申し訳ありません、このニュースコードに該当するニュースはありません。
お客様で正しいニュースコードを使用したか確かでない場合は以下をお試しください。
• ニュースコードを検索するには2番目の検索オプションをご使用ください。
• 事前作成済みコードのリストを見るには当社のヘルプページをご参照ください。
• 当社のマーケット情報を見るには情報の取得を選んでニュースコードをご参照ください。
ロイター株式会社制限規定を見るにはクリックしてください。

手順 2 その際は「All Languages」をご選択ください。ロイター社より日本語のニュース配信がない状態となります。ご了承ください。

ニュース
検索 ニュースコードによる検索 ニュースコードの検索 ヘルプ
ニュースコードの入力 言語: 日本語
ニュース: DJ REUTERS
DIARY - East Africa 30 Mar 2010 - 19:26
African Entrepreneurs Trained by Locke 30 Mar 2010 - 02:10
Somalia insurgents take over radio station 25 Mar 2010 - 23:48
Canada reassigns warship to fight al Qae 25 Mar 2010 - 02:08
DIARY - East Africa 23 Mar 2010 - 19:56
INTERVIEW-DP World port safe from debt 22 Mar 2010 - 23:56
USA warn vor Al-Kaida-Angriffen auf 22 Mar 2010 - 19:07
INTERVIEW-Dibouti president hints at third 22 Mar 2010 - 02:58
Défense-De nouveaux traités France-Afr 10 Mar 2010 - 21:49
DIARY - East Africa 09 Mar 2010 - 18:10
ロイター株式会社制限規定を見るにはクリックしてください。

SECTION チャート分析をする

6-02 チャートを見る

チャートとは



本取引システムのチャート分析システムは、フランスの IT-FINANCE 社が開発した「クイック・チャート」と「アドバンスチャート」の 2 種類をご利用いただけます。

- **クイック・チャート** 初心者の方でも使いやすいシンプルな操作性となっており、お取引に関係なく、無料でご利用いただけます。
- **アドバンスチャート (リアルタイムチャート)** 数多くのテクニカル分析を装備している高機能な分析ツールとなっており、有料でのサービス提供となっています。ただし、月間 2 回以上お取引いただければ無料でご利用いただけます。詳細はウェブサイトをご確認ください。

クイック・チャートの起動方法 《管理操作》




手順 1

注文を出す「通貨ペア・銘柄」の「クイック・チャート」を表示させます。「クイック・チャート」を表示させる方法は 2 通りあります。

- CASE 1  「通貨ペア・銘柄」より「取引チケット」を起動させる方法
- CASE 2  「メニュー」より「取引チケット」を起動させる方法

CASE 1






 より「クイック・チャート」を起動させる方法

- ① 「マーケット」「ウォッチリスト」どちらかの画面を表示させます。システム上段の   ボタンをクリックすると各画面が表示されます。
- ② 表示させた画面内より注文を出す「通貨ペア・銘柄」の  をクリックします。





通貨ペア・銘柄	取引期間	売値	買値
 日本225種株価指数	-	10729	10737
 ミニ-日本225種株価指数(JPY1 00)	-	10729	10737
 日本225種株価指数先物	JUN-1 0	10666	10681
 ミニ-日本225種株価指数先物(JPY1 00)	JUN-1 0	10666	10681

CASE 2

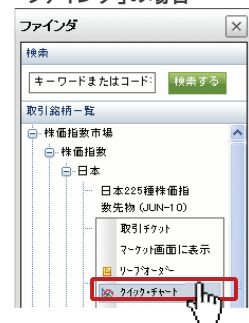
 「メニュー」クイック・チャート」を起動させる方法

- ① 「ファインダ」「マーケット」「ウォッチリスト」どちらかの画面を表示させます。システム上段の    ボタンをクリックすると各画面が表示されます。
- ② 表示させた画面内より注文を出す「通貨ペア・銘柄」の  「メニュー」を選択します。
- ③  「メニュー」から「クイック・チャート」を選択します。

「マーケット」「ウォッチリスト」の場合

通貨ペア・銘柄	取引期間	売値	買値
 日本225種株価指数	-	10729	10737
 ミニ-日本225種株価指数(JPY1 00)	-	10729	10737
 日本225種株価指数先物	JUN-1 0	10666	10681
 ミニ-日本225種株価指数先物(JPY1 00)	JUN-1 0	10666	10681

「ファインダ」の場合



手順 2









「クイック・チャート」が起動します。



チャートを見る

クイック・チャートウィンドウの表示項目について 《設定操作》

初期設定で下記の項目が表示されます。

- | | |
|--|--|
|  (A) カーソルモード
マウスオーバーで4本値をご確認いただけます。 |  (E) フィボナッチリトレースメントの描画
P93 参照 |
|  (B) ズームモード P92 参照
指定した範囲を拡大して表示させることができます。 |  (F) チャートオブジェクトの置換 P94 参照
CDE描画を移動させることができます。 |
|  (C) 線の描画 P92 参照
ラインを引くことができます。 |  (G) 線のコピー P94 参照
CDE描画をコピーすることができます。 |
|  (D) 水平線の描画 P93 参照
水平線を引くことができます。 |  (H) 線の削除 P95 参照
CDE描画を削除することができます。 |

銘柄名

現在チャート表示されている銘柄です。
チャート内の銘柄名右側には現在追加されている
テクニカル名が表示されます。



スクロールバー





横(時間)軸の表示を移動できます。

状態





チャート・マーケットの状態を表示します。

- マーケットオープン
- マーケットクローズ
- データ読みまたは停止中

各種設定

-  **(I) 各種設定** P95 参照
チャートスタイルや各種テクニカルを変更できます。
-  **(J) 保存** P106 参照
チャート設定に名前を付けて保存します。
-  **(K) 保存** P107 参照
設定が保存され、起動時の初期設定となります。
-  **(L) 印刷** P107 参照
現在のチャートを印刷できます。

分足

-  **(M) 足(時間)設定** P107 参照
ティック足～年足まで16種類から変更できます。
-  **(N) デフォルト縮尺** P108 参照
ズームイン/アウトから初期状態に戻します。
-  **(O) ズームアウト** P108 参照
画面表示の本数が増え、長期間をご覧いただけます。
-  **(P) ズームイン** P108 参照
画面表示の本数が減り、拡大してご覧いただけます。

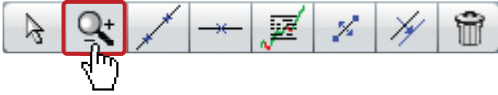
PART 6 情報・分析ツール

チャートを見る

⑧ ズームモード

指定した範囲(時間帯)のみを拡大して表示させることができます。

手順 1  をクリックし「ズームモード」にします。



手順 2 拡大表示させたい始点をクリックします。



手順 3 終点をクリックします。



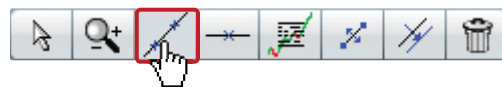
手順 4 始点～終点が拡大表示されます。



⑨ 線の描画

指定した範囲(時間帯)のみを拡大して表示させることができます。

手順 1  をクリックし「線の描画」モードにします。



手順 2 【下値抵抗線/上昇トレンドラインの場合】
始点となる安値でクリックします。



手順 3 始点を中心にラインが回転しますので、設定したい位置でクリックします。



PART 6 情報・分析ツール

チャートを見る

④ 水平線の描画

水平線を引くことができます。

手順 1  をクリックし「水平線の描画」モードにします。



手順 2 水平線を引きたい位置でクリックします。




手順 3 左側にレートが表示されます。



⑤ フィボナッチリトレースメントの描画

上昇後に修正(下落)が入った時、下落後に修正(上昇)が入ったときの予想などに使います。

手順 1  をクリックし「フィボナッチリトレースメントの描画」モードにします。



手順 2 下落に対する戻り(上昇)を予想する場合、基準となる高値でクリックします

手順 3 安値の順にクリックします。

高値 12497.5 円から安値 7013.5 円までの下落幅「5484 円」を基準とした場合

- CASE 1 23.60%の戻り幅 1294.22 円(=5484 円×23.60%)を上値目標値段(上値抵抗)とすると 8307.72 円(安値 7013.5 円+1294.22 円)となります。
- CASE 2 38.20%の戻り幅 2094.89 円(=5484 円×38.20%)を上値目標値段(上値抵抗)とすると 9108.39 円(安値 7013.5 円+2094.89 円)となります。
- CASE 3 50.00%の戻り幅 2742 円(=5484 円×50.00%)を上値目標値段(上値抵抗)とすると 9755.5 円(安値 7013.5 円+2742 円)となります。
- CASE 4 61.80%の戻り幅 3389.11 円(=5484 円×61.80%)を上値目標値段(上値抵抗)とすると 10402.61 円(安値 7013.5 円+3389.11 円)となります。



ワンポイント


「フィボナッチ数列」と呼ばれる下記の数字が元となり、「黄金分割」や「黄金比」と呼ばれる比率があります。1,1,2,3,5,8,13,21,34,55,89,144...
この数列は、どの数字も右の数字で割った比率が約 0.618(89÷144, 55÷89, 34÷55...), 2つ右の数字で割った比率が約 0.382(55÷144, 34÷89, 21÷55...), 3つ左の数字で割った比率が約 0.236(34÷144, 21÷89, 13÷55...)となります。この自然界に存在する比率を相場の世界に当てはめたものが「フィボナッチリトレースメント」です。上昇後に修正(下落)が入った場合にどこまで下落するのか、下落後に修正(上昇)が入った場合にどこまで上昇するのかを予想する場合などに、上昇/下落幅に対して、23.6%、38.2%(約 3分の 1)、68.2%(約 3分の 2)という比率を使います。

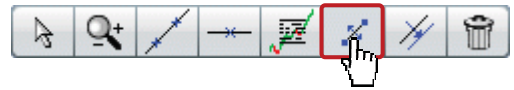
PART 6 情報・分析ツール

チャートを見る

F チャートオブジェクトの置換

CDE描画(線とフィボナッチの描画)を移動させることができます。

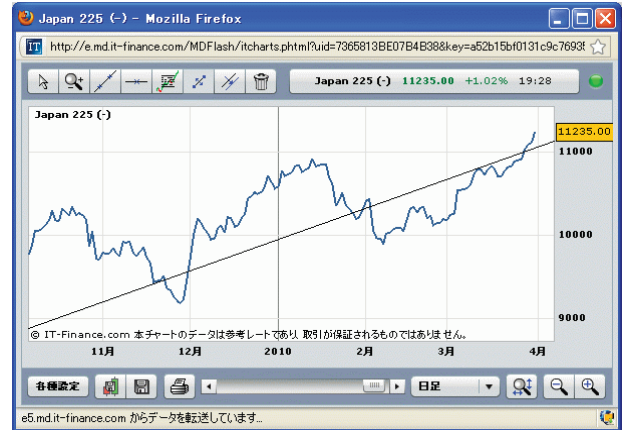
手順 1  をクリックし「チャートオブジェクトの置換」モードにします。



手順 2 移動させたい線の上にマウスポインタを合わせるとラインが水色に変わります。



手順 3 水色になったラインの上でクリックし、希望の位置に移動させて再度クリックして固定します。



G 線のコピー

CDE描画(線とフィボナッチの描画)をコピーすることができます。

手順 1  をクリックし「線のコピー」モードにします。



手順 2 移動させたい線の上にマウスポインタを合わせるとラインが水色に変わります。



手順 3 希望の位置でクリックするとペースト(貼付)されます。



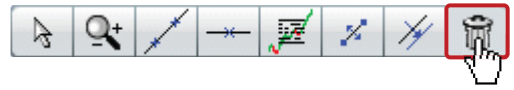
PART 6 情報・分析ツール

チャートを見る

⑧ 線の削除

③④⑤描画(線とフィボナッチの描画)を削除することができます。

手順 1  をクリックし「線の削除」モードにします。



手順 2 削除したい線の上にマウスポインタを合わせるとラインが水色に変わります。



手順 3 水色になったラインの上でクリックすると削除されます。



注意!

確認画面なしで削除されます。削除されると元に戻すことはできませんので、再度描画していただくようになります。

① 各種設定

① テクニカル分析をクリックするとチャートスタイルや各種テクニカルを変更できます。

テクニカル分析 ①

① スタイル 折れ線足(終値) ▼

② 移動平均(Moving Average) 20 50 100

指数平滑移動平均(EMA)

③ ボリンジャーバンド 20 2.00

④ パラボリック 0.02 0.02 0.20

⑤ 出来高 15

⑥ MACD ヒストグラム 12 26 9

⑦ RSI(相対力指数) 14

⑧ DMI ヒストグラム 14

⑨ ストキャスティクス 14 3 5

⑩ ウィリアムズ%R 14

⑪ モンタム % 12

⑫ チャイキンス ボラティリティ 10 10

⑬ プライス オンレーター % 5 25

⑭ A/D(集積/離散)

⑮ チャイキン マネフロー(CMF) 21

⑯ マネフロー インデックス(MFI) 14

⑰ 出来高変化率(V-ROC) % 12

⑱ 出来高オンレーター(VO) % 5 25

⑲ 標準偏差(ボラティリティ) % 20

表示設定 ② P103 参照

各種設定

①-① スタイル

チャートのスタイルを設定できます。

折れ線足(終値) ▼

折れ線足(始値) ←

折れ線足(高値) ←

折れ線足(安値) ←

折れ線足(終値) ←

バーチャート ←

ローソク足 ←

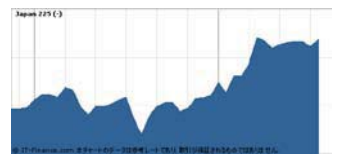
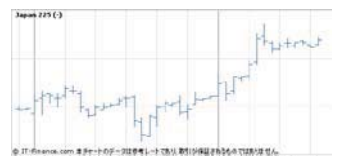
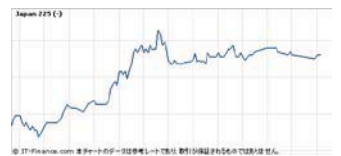
山型 ←

折れ線足(始値):
折れ線足(高値):
折れ線足(安値):
折れ線足(終値):
折れ線チャートを作成します。

バーチャート:
欧米で一般的に使われているチャートのひとつで、高値と安値を結んだ縦線と、終値の横線で作成されます。

ローソク足:
日本において明治 30 年(1897 年)代に開発されたチャートです。近年では「キャンドルスティック」という名で欧米などでも幅広く利用されています。

山型:
「終値」で折れ線チャートを作成し、折れ線より下が塗りつぶされ「山型」のように表示されます。



ワンポイント

バーチャートとローソク足の違い

チャートを見る

①-②-1 移動平均(Moving Average)

移動平均(Moving Average) 20 50 100
 パラメータ設定(単位 本数) 短期線 中期線 長期線

一般に移動平均線と言えば「単純移動平均線(Simple Moving Average)」を指し、例えば 6 日移動平均であれば下記の様な数式となります。

$$\frac{\text{当日の値段} + 1 \text{ 日前の値段} + 2 \text{ 日前の値段} \cdots + 5 \text{ 日前の値段}}{6 \text{ 日}}$$

1 本の移動平均線と値段の位置関係による一般的な見方は、移動平均線を値段が上抜いたら買いシグナル、下抜いたら買いシグナルとなります。

複数の移動平均線の位置関係による一般的な見方は、短期(中期)の移動平均線が中期(長期)の移動平均線を上抜いたら買いシグナル、下抜いたら売りシグナルとなります。



© IT-Finance.com 本チャートのデータは参考レートであり、取引が保証されるものではありません。
 移動平均線を短期(青色)・中期(灰色)・長期(赤色)、3本まで表示できます。

①-②-2 指数平滑移動平均(EMA:Exponential Moving Average)

移動平均(Moving Average) 20 50 100
 指数平滑移動平均(EMA)

指数平滑移動平均線(以下 EMA)は単純移動平均線のように一定期間内の値段を単純に平均しているのではなく、計算開始日からの値段が計算に含まれており、直近の値段に比重をかけて価値を高めているのが特徴です。

例えば 12 日 EMA であれば下記の様な数式となります。

※計算初日は単純移動平均

$$\frac{\text{前日のEMA} \times 11 + \text{当日の値段} \times 2}{12 \text{ 日} + 1 \text{ 日}}$$



© IT-Finance.com 本チャートのデータは参考レートであり、取引が保証されるものではありません。
 を付けると、該当する移動平均線が EMA に変わります。

①-③ ボリンジャーバンド

ボリンジャーバンド 20 2.00
 パラメータ設定(単位 本数) 短期線 中長期線

ボリンジャーバンドは、移動平均線に対して帯状に、 $\pm 1\sigma$ (第 1 標準偏差)、 $\pm 2\sigma$ (第 2 標準偏差)、 $\pm 3\sigma$ (第 3 標準偏差)を引いたものです。統計学において、データ(値段)が $\pm 1\sigma$ の範囲内に含まれる確率が 68.27%、 $\pm 2\sigma$ が 95.45%、 $\pm 3\sigma$ が 99.73%となっています。一般的な見方は、バンドの上が上値目標(上値抵抗)となりますが、上抜ければ更なる上昇、バンドの下が下値目標(下値支持)となりますが、下抜ければ更なる下落となります。



© IT-Finance.com 本チャートのデータは参考レートであり、取引が保証されるものではありません。

①-④ パラボリック

パラメータ設定(AF: Acceleration Factor=加速度係数)
 パラボリック 0.02 0.02 0.20
 ①最小値 ②刻み値 ③最大値

パラボリックは「上がり始めたら買う」「下がり始めたら売る」というトレンドフォロー(順張り)系の中長期分析法です。

SAR(Stop And Reverse point)と呼ばれる放物線上のラインが、値段より下で「買い線(緑色)」の場合は上昇トレンドとなります。値段が「買い線」に接したら売りシグナルとなり、SAR は値段より上の「売り線(赤)」に転換します。「売り線(赤色)」の場合は下降トレンドとなります。値段が「売り線」に接したら買いシグナルとなり、SAR は値段より下の「買い線」に転換します。



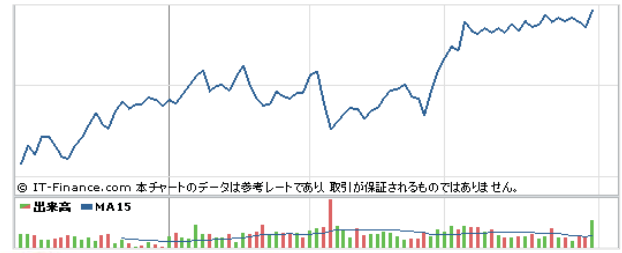
© IT-Finance.com 本チャートのデータは参考レートであり、取引が保証されるものではありません。

チャートを見る

③-⑤ 出来高

パラメータ設定(単位 本数) 出来高移動平均
 出来高

取引所の取引にて、出来高(売買高)がデータ配信されている銘柄は出来高をご覧いただけます。棒グラフが出来高、折れ線グラフが出来高移動平均(15本設定)となります。
 出来高は相場の力強さを示しており、出来高の増加を伴った上昇トレンドは強く、上昇しているにもかかわらず、出来高が減少していると、高値圏(下落に転じやすい)に入っていると判断されます。
 反対に、下降トレンド期は出来高が減少する傾向にあります。下落しているにもかかわらず出来高が増加し始めると、底値圏(上昇に転じやすい)に入っていると判断されます。
 また、高値圏、底値圏で出来高が急増した場合、相場が転換すると判断されます。



ワンポイント

CFD 取引は、ほとんどの取引が相対取引となっているため、全ての取引に対して公表されている出来高はありません。



③-⑥-1 MACD

パラメータ設定(単位 本数) ①短期 EMA ②長期 EMA ③SIGNAL Line (MACDのEMA)
 MACD ヒストグラム

移動平均線(P96 参照)の見方のひとつに、2本の線が交差したとき(①)を売買シグナルとなりますが、このシグナルでは高値/安値(②)に対して遅れが生じてしまいます。実際には高値、安値をつけたとき、2本の線の差は最大(③)になっていることから、MACD ではその最大となったときを売買シグナルとしています。
 MACD は、2本の EMA の差を折れ線グラフにしたもので、「短期線(12日例:)>中長期線(例:26日)」のときがプラス、「短期線<中長期線」のときがマイナス、交差したときがゼロ(④)となります。
 SIGNALはMACDのEMA(例:9日)となります。基本的な見方は、FAST Line(MACD)が SIGNAL Line を上抜いたら買いシグナル、下抜いたら売りシグナルとなります。



移動平均(Moving Average)
 パラメータ設定(単位 本数) 短期線(青) 長期線(赤)

③-⑥-2 MACD(H: Histogram)

パラメータ設定(単位 本数) ①短期 EMA ②長期 EMA ③SIGNAL Line (MACDのEMA)
 MACD ヒストグラム

ヒストグラムに☑を付ける
 FAST Line(MACD)と SIGNAL Line との差を棒グラフにしたものが、MACD の histogram です。
 「FAST Line(MACD)>SIGNAL Line」のときがプラス(緑色)、「FAST Line(MACD)<SIGNAL Line」のときがマイナス(赤色)、交差したとき(①)に棒グラフの上下が入れ替わります。Histogramの増加と減少は転換するとしばらく継続される傾向にあり、減少から増加へと転換したとき(②)が買いシグナル、増加から減少へと転換したとき(③)が売りシグナルとなります。



チャートを見る

⑧-⑦ 相対力指数(RSI)

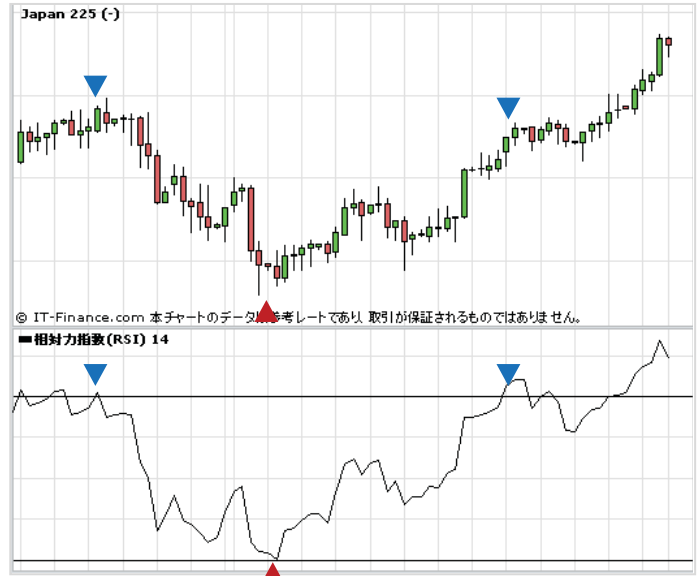
パラメータ設定(単位 本数)

RSI(相対力指数)

RSIは0~100までの指数により、相場の「上げ(買われ)過ぎ」「下げ(売られ)過ぎ」を判断する、オシレーター(逆張り)系の中短期分析法です。一般的に30ポイント以下(▲)は「下げ(売られ)過ぎ」の状態、ここからの下落は抵抗が強くなり、上昇へと転換する可能性が高いとみまます。反対に、70ポイント以上(▼)は「上げ(買われ)過ぎ」の状態、ここからの上昇は抵抗が強くなり、下落へと転換する可能性が高いとみまます。

ワンポイント

「30以下になったら買う」「70以上になったら売る」という売買手法により、オシレーター(逆張り)系の分析法に分類されますが、「30以下から30以上になったら買う」「70以上から70以下になったら売る」という売買手法をとると、トレンドフォロー(順張り)系の分析法として利用できます。

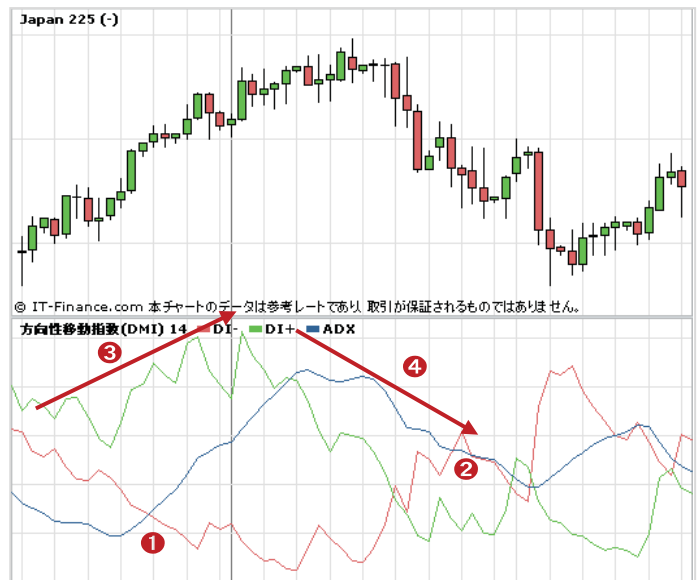


⑧-⑧-1 DMI (方向性移動指数)

パラメータ設定(単位 本数)

DMI ヒストグラム

DMIは「+DM(青色)」「-DM(赤色)」「ADX(緑色)」の3本の線により、他の分析法と同様に「売買シグナル」としての利用方法もありますが、その特徴は「トレンドの分析」にあります。「+DM」は変動幅に対する上昇の割合で「上昇の方向性の強弱」を示し、「-DM」は変動幅に対する下落の割合で「下落の方向性の強弱」を示します。この2本の線の交差を売買シグナルとし、「+DM」が「-DM」を上抜いたら買いシグナル(①)、下抜いたら売りシグナル(②)となります。ただし、このシグナルだけでは、ポジションを保有するに値する強いトレンドなのか、それともすぐに転換してしまいそうな弱いトレンドなのか、わかりません。そこで、「+DM」と「-DM」との差(絶対値)をそれらの合計で割ることで、トレンドの強弱を示したものが「ADX」です。「ADX」の上下の動きは、相場が上昇しているか下落しているかではなく、上昇していればトレンドが強い、下落していればそのトレンドは弱いということになります。よって、「ADX」が高い位置で上昇しているとき(③)にポジションを保有した方がよく、「ADX」が下落しているとき(④)は、ポジションを保有しない方がいいということになります。



⑧-⑧-2 DMI(H: Histogram) (方向性移動指数)

パラメータ設定(単位 本数)

DMI ヒストグラム

ヒストグラムに☑を付ける
「H(histogram)」は、「+DM(青色)」「-DM(赤色)」との差を棒グラフで表示したもので、「+DM > -DM」であれば、緑の棒グラフがプラス(上)に、「+DM < -DM」であれば、赤の棒グラフがマイナス(下)に表示されます。



チャートを見る

⑨ ストキャスティクス

パラメータ設定(単位 本数) %K %D Slow%D

ストキャスティクス 14 3 5

ストキャスティクスは「%K」「%D」「Slow%D」の3本の組み合わせとなっていますが、「%K」は動きが敏感すぎるため「%D」「Slow%D」2本の表示が一般的となっています。クイック・チャートの表示も2本となっていますが、「%K」をご覧になりたい場合は、「%D」と「Slow%D」の設定を「1」にしてください。RSI 同様、0～100 までの指数により、相場の「上げ(買われ)過ぎ」「下げ(売られ)過ぎ」を判断する、オシレーター(逆張り)系の短期分析法です。よって、一定の幅で上げ下げが繰り返されている相場(①)であれば有効ですが、一方に大きく動いてしまう(②)と上下に張り付いてしまい、役に立たなくなってしまいます。一般的に 30%以下の「下げ(売られ)過ぎ」の状態、特に 10～15%に位置しているときに買いシグナル(▲)、70%以上の「上げ(買われ)過ぎ」の状態、特に 85～90%に位置しているときに売りシグナル(▼)となります。

トレンド	売買シグナル	ポジション
上昇トレンド	買いシグナル	買いポジション保有
	売りシグナル	買いポジション清算
下降トレンド	買いシグナル	売りポジション保有
	売りシグナル	売りポジション清算



ワンポイント

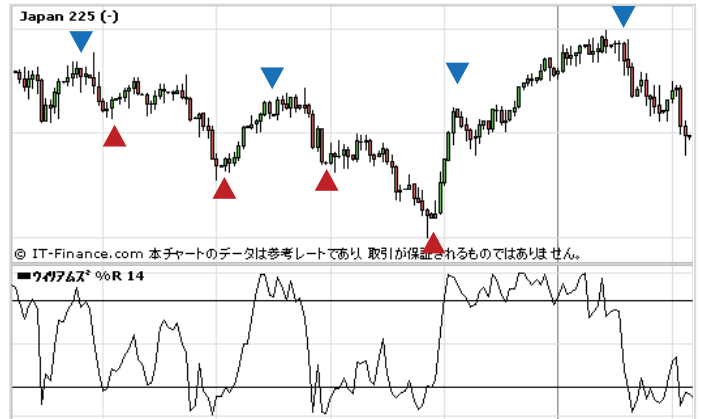
ストキャスティクスのようなオシレーター分析の欠点を補うためには、まず移動平均線や DMI でトレンド分析を行うことが必要です。そして、右表のように、上昇トレンド期は買いポジションを保有するのみで、トレンドに逆らって売りポジションを保有することはしない、下降トレンド期は売りポジションを保有するのみで、トレンドに逆らって買いポジションを保有することはしないといった売買手法もあります。

⑩ ウィリアムズ%R

パラメータ設定(単位 本数)

ウィリアムズ%R 14

ウィリアムズ(考案者の名前)の%R の基本的な考え方、見方はストキャスティクスの%K と同じになります。ストキャスティクスとの違いは、「%R」1本だけの表示である点と、計算式の分母と分子が逆になっている点です。よって、20%以下が上げ(買われ)過ぎで売りシグナル、80%以上が下げ(売られ)過ぎで買いシグナルと反対になりますが、チャートの目盛りが逆になっているため、チャート上での上げ下げは同じになります。



⑪ モメンタム

パラメータ設定(単位 本数)

モメンタム % 10

「モメンタム(Momentum)」は、変化率から相場の「勢い」を分析したものです。一般的に設定は 10 日前後がよく使われており、計算式は「終値(現在値) - 10 日前の終値」となります。基本的な見方は、0 を上抜いたら買いシグナル(▲)となりプラスに位置しているときに上昇トレンド、0 を下抜けたら売りシグナル(▼)となり、マイナスに位置しているときに下降トレンドとなります。そして、上昇(下落)すればするほど、そのトレンドは強く、角度が急であれば(①)勢いがあるということになります。また、相場が上昇(下落)しているにもかかわらず、モメンタムが横ばいの場合(②)、そのトレンドが弱まっており、転換期が近づいているのではないかとということになります。



「%」に☑を付けると 10 日前と現在の値段との「差」ではなく「率」で表示されます。

モメンタム % 10

ワンポイント

単純に 10 日前と現在の値段を比較しているだけですが、「上昇トレンドであれば、10 日前の値段を下まわることはいない」「下降トレンドであれば、10 日前の値段を上まわることはいない」という考え方が反映されています。

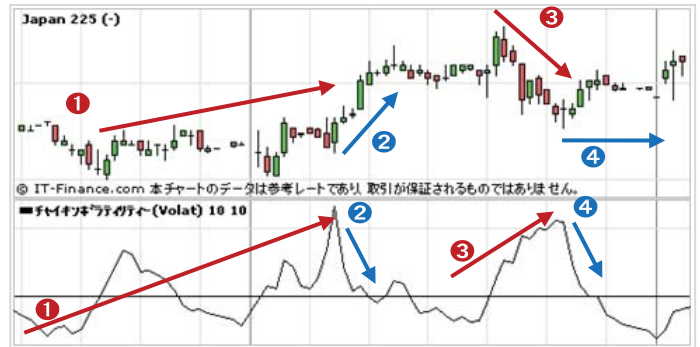
チャートを見る

⑧-12 チャイキンスボラティリティ

パラメータ設定(単位 本数) ①n本 EMA ②n本前と比較

チャイキンス ボラティリティ 10 10

「ボラティリティ」とは価格の変動幅(率)を指しており、価格変動の大きい相場を「ボラティリティが高い」、小さい相場を「ボラティリティが低い」などと表現します。「ボラティリティ」の算出方法は様々ありますが、考案者のチャイキン氏が「ボラティリティ」と名づけられたこの分析法は、高値と安値との差でEMAを算出し、その値を過去と比較して指数化することで「ボラティリティ」を算出しています。値段とボラティリティとの関係は、ボラティリティが高まりながらの上昇(①)は力強いものがありますが、値段は上昇してもボラティリティが低くなっていく(②)と高値圏に入り、下落の可能性が高まります。そして、下落し始めるとボラティリティが一気に高まり(③)、安値圏に入ると低くなっていきます(④)。



⑧-13 プライス・オシレーター

パラメータ設定(単位 本数) ... 値幅(APO: Absolute Price Oscillator)

プライス・オシレーター % 5 25

①EMA 短期線(例:5本) ②EMA 中長期線(例:25本)

価格はオシレーターは、2本のEMAの差を「値幅(APO: Absolute Price Oscillator)」もしくは「率(PPO: Percentage Price Oscillator)」を指標としており、MACD(P97参照)と似た考え方となります。基本的な見方は、0が2本のEMAの交点となりますので、マイナスからプラスに転じたら(EMAの短期線が長期線を上抜けたら)買いシグナル(①)、プラスからマイナスに転じたら(EMAの短期線が長期線を下抜けたら)売りシグナル(②)となります。また、プラスの高値圏が値段の高値圏(③)となり、マイナスの安値圏が値段の安値圏になります。



「%」に☑を付けると「差」ではなく「率」で表示されます。

パラメータ設定(単位 本数) ... 率(PPO: Percentage Price Oscillator)

プライス・オシレーター % 5 25

①EMA 短期線 ②EMA 中長期線

⑧-14 A/D(集積/離散)

A/D(集積/離散)

A/Dは、上昇幅/下落幅と出来高の増減を関連付け、上昇幅の方が大きいときは出来高を集積(プラス)し、下落幅の方が大きいときは出来高を離散(マイナス)させて累計し、値段の上げ下げだけではわからない、蓄積された力強さを読み取ろうというものです。まず、値動きによる相場の強弱は、当日(日足の場合)の値段が「①安値から終値までの上昇幅 > ②高値から終値までの下落幅」であれば上昇力が強く、反対であれば下落力が強いと識別します。そして、「③高値-安値」に対して「①上昇力-②下落力」の割合を算出し、出来高にその割合を乗じた値を、「①上昇力 > ②下落力」であれば日々加算(集積)し、「①上昇力 < ②下落力」であれば日々減算(離散)していきます。

$$A/C = \frac{\text{①(終値-安値)} - \text{②(高値-終値)}}{\text{③高値-安値}} \times \text{出来高}$$

相場の上昇(下落)に伴ってA/Dも上昇(下落)していれば力強い上昇(下落)(①)となりますが、それぞれの上昇/下落が逆行するダイバージェンス(②)が発生すれば、転換期が近いと判断されます。



注意!

A/Dは、出来高を使った分析法ですので、取引所の取引にて出来高(売買高)がデータ配信されている銘柄のみご覧いただけます。

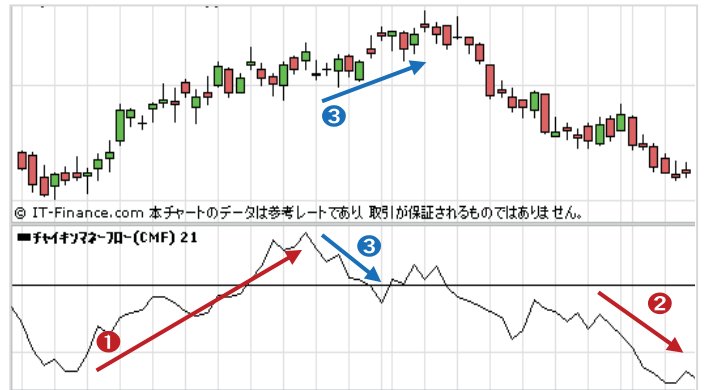
チャートを見る

⑨-15 チャイキン・マネーフロー(CMF)

パラメータ設定(単位 本数)

チャイキン・マネーフロー(CMF)

チャイキン・マネーフロー(Chaikin Money Flow)は、A/D(P100参照)を設定日数(日足の場合)で平均化した指数です。設定期間中のA/Dの合計を同じ設定期間中の出来高の合計で割って算出し、-1~1の間で推移します。プラスで上昇(①)しているときは上昇力が強く、マイナスで下落(②)しているときは下落力が強いと識別します。そして、値段とチャイキン・マネーフローの動き(上昇/下落)が逆行するダイバージェンス(③)が発生すれば、転換期に近いと判断されます。



注意!

チャイキン・マネーフローは、出来高を使った分析法ですので、取引所の取引にて出来高(売買高)がデータ配信されている銘柄のみご覧いただけます。

⑨-16 マネーフローインデックス

パラメータ設定(単位 本数)

マネーフローインデックス(MFI)

マネーフローインデックス(Money Flow Indicator)は、上昇時の「値段と出来高」を上昇力、下落時の「値段と出来高」を下落力とし、その比率を0~100までの指数化し、相場の「上げ(買われ)過ぎ」「下げ(売られ)過ぎ」を判断する、オシレーター(逆張り)系の分析法です。一般的に20~30ポイント以下(▲)は「下げ(売られ)過ぎ」の状態、ここからの下落は抵抗が強くなり、上昇へと転換する可能性が高いとみます。反対に、70~80ポイント以上(▼)は「上げ(買われ)過ぎ」の状態、ここからの上昇は抵抗が強くなり、下落へと転換する可能性が高いとみます。



注意!

マネーフローインデックスは、出来高を使った分析法ですので、取引所の取引にて出来高(売買高)がデータ配信されている銘柄のみご覧いただけます。

ワンポイント

マネーフローインデックスの特徴は、
その日(日足の場合)の値段を単純に「終値」ではなく、(TP:Typical Price)を使っている点です。そして、その値段(TP)に出来高を掛け合わせ(MF:Money Flow)、値段(TP)が前日より上昇した日の「値段×出来高(MF)」の合計(PMF:Positive Money Flow)と、値段(TP)が前日と変わらず、もしくは下落した日の「値段×出来高(MF)」の合計(NMF:Negative Money Flow)を算出し、公式「 $100 - \frac{100}{1 + MR}$ 」に当てはめて指数を算出しています。

⑨-17 出来高変化率(V-ROC)

パラメータ設定(単位 本数)

出来高変化率(V-ROC) %

出来高変化率(Volume Rate of Change)は、当日(日足の場合)の出来高と設定日前の出来高とを比較して、その変化を差もしくは率で表示させたものです。当日の出来高>設定日前の出来高ならプラスで、当日の出来高<設定日前の出来高ならマイナスで表示されます。出来高の急増を伴った急騰/急落は、高値/安値となりやすい傾向にあります。(▲)ただし、一時的な急増の場合、設定日数後に通常の出来高であったとしても出来高変化率は急落します。



「%」に☑を付けると「差」ではなく「率」で表示されます。

注意!

出来高変化率は、出来高を使った分析法ですので、取引所の取引にて出来高(売買高)がデータ配信されている銘柄のみご覧いただけます。

パラメータ設定(単位 本数) ...率
 出来高変化率(V-ROC) %

チャートを見る

(a)-18 出来高オシレーター(VO)

パラメータ設定(単位 値幅) 短期線 長期線(非表示)

出来高オシレーター(VO) % 5 25

出来高オシレーター(Volume Oscillator)は、出来高で2本の移動平均を作成し、その差もしくは率を表示したものです。短期線が長期線より上に位置しているときはプラスで推移し、反対に下に位置しているときはマイナスで推移します。よって、2本の移動平均線が交差したとき、出来高オシレーターはゼロとなります。値段が上昇しているときに出来高も増加していれば強い上昇トレンド(①)となりますが、減少している(②)と転換する可能性が高まっています。反対に値段が下落しているときに出来高も減少していれば強い下降トレンド(③)となりますが、増加している(④)と、転換する可能性が高まっていますとみます。



「%」に☑を付けると「差」ではなく「率」で表示されます。

パラメータ設定(単位 本数) ...率

出来高オシレーター(VO) % 5 25



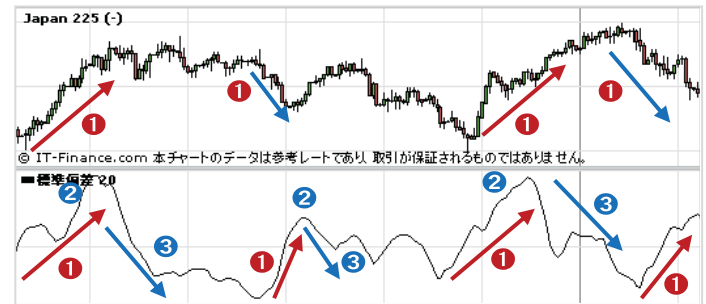
出来高オシレーターは、出来高を使った分析法ですので、取引所の取引にて出来高(売買高)がデータ配信されている銘柄のみご覧いただけます。

(a)-19 標準偏差(ボラティリティ)

パラメータ設定(単位 値幅)

標準偏差(ボラティリティ) % 20

標準偏差を使った「ボラティリティ」の計測方法のひとつで、標準的な統計処理方法が確立されていることから、広く一般的な指標となっています。統計学で使われる「標準偏差」の計算方法で、一定期間の移動平均に対する乖離幅(または率)の大きさを算出して「ボラティリティ」としています。ボラティリティが高いとリスクが高いということになりますが、取引を行う以上は、ボラティリティが高まって上昇/下降トレンドを形成している必要があります。よって、上昇(下降)トレンド期における買い(売り)ポジションの保有は、ボラティリティも上昇(①)しているときに保有し続け、ボラティリティが高くなり過ぎたり(②)、下落し始めたら(③)清算するというのが売買手法の一つです。保合(レンジ)相場から放れたところを売買シグナルとする方法もありますが、一般的には他の分析法と組み合わせ、トレンドの強弱や進行状態(発生→過熱→終了)を識別することに使用されます。



「%」に☑を付けると「差」ではなく「率」で表示されます。

パラメータ設定(単位 本数) ...率

標準偏差(ボラティリティ) % 20

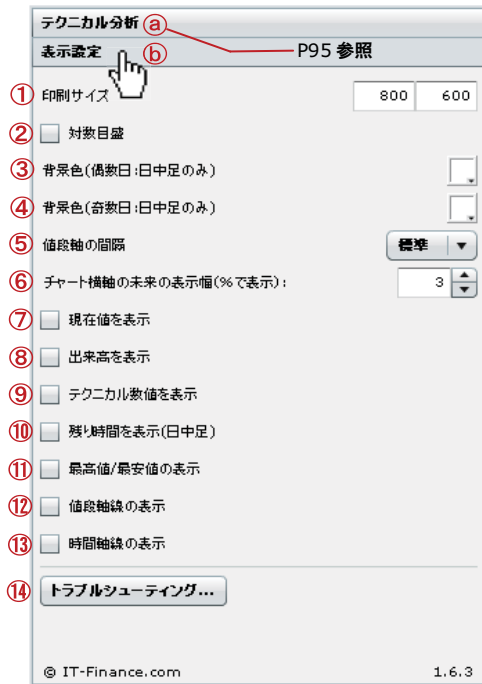


例えば A 銘柄は昨日の終値が 9,800 円、本日の終値が 10,200 円、B 銘柄は昨日の終値が 9,900 円、本日の終値が 10,100 円だとします。この場合どちらも 2 日移動平均は 10,000 円となります。しかし、標準偏差では、A 銘柄は 200 円、B 銘柄は 100 円となりますので、A 銘柄の方が B 銘柄の 2 倍のボラティリティ、2 倍のリスクがあるということがわかります。つまり、A 銘柄は 2 日で 400 円(200円×2)、B 銘柄は 2 円(100円×2)の損失が発生するリスクを持っているということです。取引を行う際には、このボラティリティで保有しているポジションのリスクを把握しておくのもひとつの方法です。

※計算を簡単にするために「2 日」を使用しましたが、実際はお客さまの投資スタイルに合わせた期間設定が必要となります。

チャートを見る

① テクニカル分析をクリックするとチャートスタイルや各種テクニカルを変更できます。

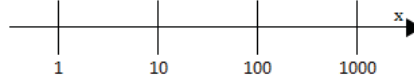


②-① 印刷サイズ

印刷時のチャートサイズを指定できます。数値はピクセル表示です。

②-② 対数目盛

対数軸とは、軸の目盛りが等間隔に見るとそれらが等比数列となっているものを指します。

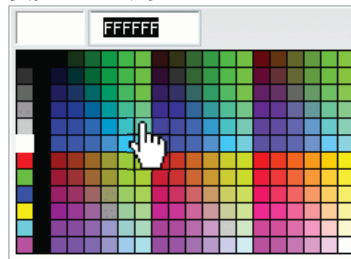


対数目盛りにより、レートの変動幅が大きなチャートをより直線的に表示することができます。

②-③ 背景色(偶数日:日中足のみ)

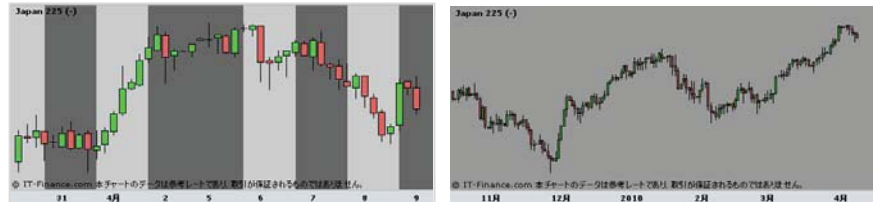
②-④ 背景色(奇数日:日中足のみ)

日中足(日足より短時間軸)チャートの奇数日・偶数日の背景色をそれぞれ設定できます。 をクリックすると、色選択画面が表示されますので、お好みの色をクリックするか、RGBの16進法表記(0~10とA~Fの色記号)を入力するとチャートの背景色を変更できます。



表示期間が長い(日足以上)場合は、偶数日の背景色が表示されます。

例) 偶数日(#CCCCCC)、奇数日(#666666)の場合



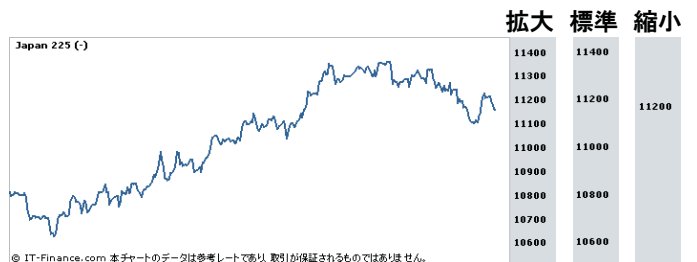
②-⑤ 値段幅の間隔

値段幅の間隔を変更することができます。



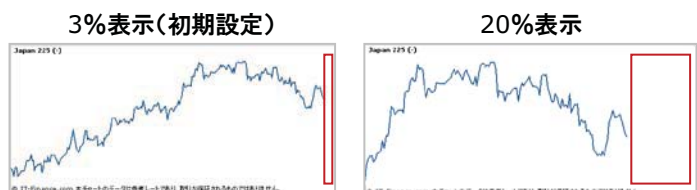
拡大: 値段間隔を拡大することにより、表示値段が増加します。
標準: 初期設定値です。

縮小: 値段間隔を縮小することにより、表示値段が減少します。



②-⑥ チャート横軸の未来の表示幅(%で表示)

チャートの描画部分の右側に表示する余白(未来の表示)部分の幅を%で指定できます。一般的にトレンドラインなどを描画して未来のレート変動幅を想定するために使用します。



PART 6 情報・分析ツール

チャートを見る

⑥-⑦ 現在値を表示

を付けると(初期設定)チャート右側に現在値が表示されます。

11173.00

⑥-⑧ 出来高を表示

を付けると出来高(P97 参照)を表示した際に右側に現在の出来高が表示されます。



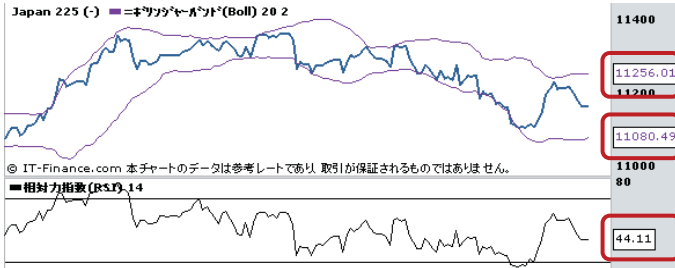
出来高は取引所の取引にて出来高(売買高)がデータ配信されている銘柄のみご覧いただけます。



⑥-⑨ テクニカル数値を表示

を付けると追加したテクニカルの現在の数値を右側に表示します。

例)ボリンジャーバンドとRSIを追加した場合、



カーソルモードにてチャート上でマウスを移動すると、現在のテクニカル数値とは別に、マウスオーバーのテクニカルの数値を確認することができます。こちらは特に設定は必要ありません。



⑥-⑩ 残り時間を表示(日中足)

を付けると日中足(日足より短時間軸)チャートの右側に次回のチャートの描画更新までの時間が表示されます。



⑥-⑪ 最高値/最安値の表示

を付けると当日の最高値と最安値を銘柄名の右側に表示します。



カーソルモードにてチャート上でマウスを移動すると、現在の最高値/最安値とは別に、マウスオーバーの最高値/最安値の数値を確認することができます。こちらは特に設定は必要ありません。



チャートを見る

⑥-12 値段軸線の表示

を付けるとチャートに値段軸線(横軸)の区切り線が表示されます。

表示あり(初期設定)



表示なし



⑥-13 時間軸線の表示

を付けるとチャートに時間軸線(縦軸)の区切り線が表示されます。

表示あり(初期設定)



表示なし



⑥-14 トラブルシューティング

トラブルシューティング... をクリックし、メッセージをご入力いただき、**送信** をクリックしていただくと、CFD ヘルプデスクへ送信されます。CFD ヘルプデスクからの回答はご登録のメールアドレスへ送信されます。



PART 6 情報・分析ツール

チャートを見る

① 保存

チャート設定に名前を付けて保存します。

① チャート設定に名前を付けて保存

をクリックし、「削除/保存」をクリックして行います。名前を入力して をクリックします。



※仕様上、現在のところ日本語非対応となりますのでご注意ください。

② 保存したチャートを開く

をクリックし、保存した名前をクリックします。



③ チャートを初期表示に戻す

をクリックし、「デフォルト設定」をクリックします。



④ 保存したチャート設定を削除


をクリックし、「削除/保存」をクリックして行います。保存したテンプレート名をクリック後 をクリックします。





PART 6 情報・分析ツール

チャートを見る

㊦ 保存

 をクリックするとチャート設定がシステムサーバーに送信され、次回チャート起動時や別の銘柄のクイック・チャートを起動した際の初期表示となります。

ワンポイント

初期表示設定変更後に、異なるチャート設定への変更や、デフォルト設定に戻したい場合は、 をクリックして異なるテンプレート名や「デフォルト設定」をクリックして、チャート表示を変更してから  をクリックします。

㊦ 印刷

 をクリックすると表示中のチャートを画像(PNG形式)としてブラウザの新しいウィンドウで表示します。

ブラウザメニューから印刷をしたり、画像をファイル保存することができます。



㊦ 足(時間)設定

ティック足～年足まで16種類から変更できます。



PART 6 情報・分析ツール

チャートを見る

㊦ デフォルト縮尺

ズームモードやズームアウト/インで縮尺を変更したり、スクロールバーで表示位置を移動したチャートを初期の縮尺に戻します。

初期縮尺



例)ズームイン後に 🔍 をクリック



初期縮尺へ戻ります。



㊦ ズームアウト

画面表示の本数が増え、長期間をご覧いただけます。

初期縮尺



🔍 をクリック



㊦ ズームイン

画面表示の本数が減り、拡大してご覧いただけます。

初期縮尺



🔍 をクリック

